

幕末の礎となった須佐の歴史と文化が学べる館



▲益田氏と須佐コーナー

萩市 須佐歴史民俗資料館 「みこと館」



▲▼日本の近代化を支えた郷土出身者コーナー



開催中

2013.7.28
豪雨災害復興企画展
「須佐を支えた人々」



開館時間

- 午前 9:00～午後 4:30

休館日

- 月曜日及び祝祭日の翌日
- 年末年始 12月29日～1月3日

入館料

- 大人 / 1人 310円
- 子ども / 1人 150円
- 団体 (20人以上)
- 大人 / 1人 200円
- 子ども / 1人 100円



〒759-3411 山口県萩市大字須佐 4441-10
須佐歴史民俗資料館「みこと館」

☎08387-6-3916

須佐歴史民俗資料館 「みこと館」紹介



入口には観光施設やスポットを紹介



ジオパークとは、地域の自然に親しみ、その成り立ちを学び、楽しむ場所です。須佐地域のジオパークのみどころ(ジオサイト)を紹介します。

須佐唐津焼と萩焼の歴史と、それぞれの特徴、須佐唐津焼ができるまでの説明、制作道具などを展示しています。また、須佐唐津焼と萩焼の違いを触って確かめる体験コーナーも設置しています。



萩ジオパーク構想 須佐・高山ジオサイト

ホール

須佐唐津焼の 歴史と製法



「青磁釉」の須佐唐津焼の特徴と、北前船によって全国各地に分布していた須佐唐津焼のすり鉢について紹介と残っている優れた須佐唐津焼の展示をしています。

久原房之助、手塚猛昌の資料を展示します。

須佐唐津焼

久原房之助

手塚猛昌

第一展示室
産業展示ゾーン

大塚均

須佐の紹介



須佐出身の先人たちの中から「日本の近代を支えた実業家・政治家久原 房之助」、「日本の時刻表の父 手塚 猛昌」、「日本切手デザイン界の大家 大塚 均」をご紹介します。



新しい時代の礎となった萩藩永代家老 益田親施について、萩の松下村塾と須佐育英館の交流、「回天軍」や「四境戦争」など、幕長戦争のエピソードをご紹介します。

益田親施胸像

益田親施と 幕末の須佐

奇兵隊陣羽織、河上範三書、回天軍連判状など幕末関連の資料を展示しています。



須佐地域の成り立ちと特徴を簡単な説明と映像と音楽でご紹介します。

第二展示室
歴史展示ゾーン

益田氏と 須佐・萩

育英館

須佐市中細見図



江戸時代、須佐を本拠に一万二千余石を領有し、萩藩永代家老として毛利氏を最後まで支え、「萩の土堀は須佐(町)で持つ」といわれた益田氏。その歴史を紹介します。



嘉永5年(1852)から安政年間(1854)の間に制作された須佐の絵図「須佐市中細見図」と、益田氏が創設した郷校「育英館」の紹介。

